



2022 年 4 月 28 日

2022 年度 第 1 四半期 決算レポート

1-3 月実績（対 2021 年）

- ・ 売上収益は 6.2%増の 5,815 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 3.8%増の 5,470 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 4.5%増の 1,861 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 9.4%増の 1,949 億円
- ・ 営業利益は 11.4%増の 1,784 億円
- ・ 四半期利益は 9.1%増の 1,241 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 278 億円増の 184 億円

財務数値の詳細については P.10「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“昨今のロシア・ウクライナ情勢について、多くの方々が命を失い、また困難に直面されている状況を深く憂慮しており、早期に平和的解決に向かうことを強く願っています。

当社グループでは、複数の支援団体と協力して、ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けた人々への緊急的な支援を行っております。世界中の当社グループ従業員からも支援が寄せられており、これまでに総額約 5 百万米国ドル相当の人道支援活動につながっております。

ロシア市場においては、すでにお知らせしている通り、新規投資及びマーケティング活動を停止しておりますが、事業環境がますます複雑化している中において、当社グループによる安定的かつ持続的な事業運営に著しい支障が生じる蓋然性を踏まえ、同市場におけるたばこ事業の運営のあり方について、JT グループ経営からの分離を含めた選択肢の検討を行っております。

ロシア市場における約 4,000 名の従業員について、雇用の確保も含めて、可能な限りの対応を行ってまいります。

国内外たばこ事業を一本化した新体制のもと、JT グループの第 1 四半期実績は為替一定ベースの調整後営業利益が 4.5%成長するなど堅調なものとなりました。一方で、コストの上昇やインフレーションの進行等、事業を取り巻く環境は過去に例のない規模、スピードで不確実性を増しています。加えて、今後のロシア市場に関する確度の高い見通しが困難であることを踏まえ、第 1 四半期決算時点においては通期業績予想の修正は見送ることいたしました。

引き続き、従業員とその家族の安全を最優先としつつ、困難に直面している方々に対して人道支援を含む可能な限りのサポートを行っていくことに加え、状況の変化を注視し、経営理念である 4S モデル*に則り、適切な経営判断を下してまいります。”

* JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4 者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

投資家説明会

投資家説明会は、2022年4月28日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度、2022 年度実績及び 2022 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

2022 年度 第 1 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	5,815	5,474	+ 6.2%
調整後営業利益	1,949	1,781	+ 9.4%
営業利益	1,784	1,601	+ 11.4%
四半期利益	1,241	1,138	+ 9.1%
為替一定ベース core revenue	5,470	5,269	+ 3.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,861	1,781	+ 4.5%

2022 年 1-3 月

- 売上収益**
 売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 6.2%増の 5,815 億円となりました。為替一定ベースの core revenue は、前年同期比 3.8%増の 5,470 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増加したことにより、前年同期比 4.5%増の 1,861 億円となりました。
 財務報告ベースでは、多くの現地通貨に対して円安となったことにより、たばこ事業においてポジティブな為替影響を受けたことから、前年同期比 9.4%増の 1,949 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増加を主因として、前年同期比 11.4%増の 1,784 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、法人税負担が増加したものの営業利益の増益により、前年同期比 9.1%増の 1,241 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,020	4,731	+6.1% (+3.4%)*
調整後営業利益	1,973	1,823	+8.3% (+3.4%)*
参考 (億本、億円)			
総販売数量	1,285	1,270	+1.2%
Combustibles 販売数量	1,266	1,253	+1.0%
RRP 販売数量	20	17	+16.0%
RRP 関連売上収益	191	186	+2.4%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

2022 年 1-3 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、継続的な市場シェアの伸張、全てのクラスターにおけるポジティブな単価差影響の発現及びポジティブな為替影響により、主に Western Europe 及び EMA に牽引されて前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Combustibles でのポジティブな単価差/商品構成影響 256 億円増加が、ネガティブな数量差影響 93 億円を上回ったことにより、前年同期比 6.1%の増加となりました。RRP 関連売上収益は、前年同期と比べて 4 億円増加しました。なお、為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 3.4%増加しています。

財務報告ベースの調整後営業利益は、日本を中心に HTS への継続的な投資を実行したものの、自社たばこ製品売上収益が増加したことにより、前年同期比 8.3%の増加となりました。なお、為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 3.4%増加しています。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、EMA での増加が Asia 及び Western Europe での減少を上回ったことにより、前年同期比 1.2%増加しました。Combustibles 販売数量及び RRP 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 1.0%、16.0%増加しました。総販売数量は、主にアゼルバイジャン・Global Travel Retail²・インドネシア・イラン・モロッコ・ミャンマー・ナイジェリア・ポーランド・スペインで増加しました。RRP 販売数量は、HTS が成長ドライバーとなっており、日本における PloomX の数量及びシェアが引き続き増加しています。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・ルーマニア・スペイン・台湾・トルコといった主要市場を含めた多くの市場で伸張しています。

Asia

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	1,929	1,941	-0.6% (-2.9%)*
調整後営業利益	757	767	-1.3% (-1.5%)*
参考 (億本)			
総販売数量	315	328	-4.1%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及び為替影響をネガティブな数量差影響が上回り、前年同期と比べてそれぞれ 0.6%、1.3%減少しました。為替影響を除いた場合、自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、前年同期と比べそれぞれ 2.9%、1.5%の減少となりました。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にバングラデシュ・日本・フィリピンといった市場で数量が減少したことにより、前年同期と比べてそれぞれ 4.1%、4.5%減少しました。市場シェアは、カンボジア・インドネシア・フィリピン・シンガポール・韓国・台湾において伸張しました。

・ 市場別実績¹

日本における総販売数量は、RRP 販売数量の増加はあるものの、前年同期と比べて 9.2%減少しました。Combustibles 販売数量は、Combustibles 総需要及びシェアが減少したことにより、前年同期と比べて 12.1%減少しました。なお、Combustibles 総需要は前年同期と比べ 8.5%減少したものと推定しています。Combustibles シェアは、2021 年 10 月におけるシガリロに対する税制改正を含む増税以降も引き続き低価格帯での競争が継続していること及び RRP 製品への移行により、前年同期比 2.4 パーセントポイント減の 57.2%になりました。RRP 販売数量は、RRP 市場占有率が増加したこと及び RRP カテゴリ内シェアが前年同期比 2.2 パーセントポイント増の 12.0%になったことにより、前年同期と比べて 33.0%増加しました。Ploom X の HTS カテゴリ内シェアは、前年同期比 3.7 パーセントポイント増の 7.2%になりました。なお、RRP 市場占有率は、33.4%(出荷ベース)と推計しています。市場シェア³は、RRP カテゴリ内シェアが増加したものの Combustibles シェアが減少したことにより、前年同期比 2.7 パーセントポイント減の 42.1%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、2021 年 10 月の定価改定によりポジティブな単価差/商品構成影響があったものの、ネガティブな数量差影響により、前年同期と比べ減少しました。

台湾における総販売数量は、総需要が減少する中、前年同期と同水準の 0.2%の減少となりました。GFB 販売数量は、プレミアムセグメントにおけるリーディングポジションを一層強固なものにしている MEVIUS が堅調に推移したものの、前年同期と比べ 0.4%減少しました。市場シェアは、Winston、MEVIUS 及び LD の伸張により、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 48.7%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

フィリピンにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、Camel 及び Mighty が増加したものの、2022 年 2 月の値上げ以降一時的に競争環境が激化したことにより、それぞれ 3.1%、7.1%の減少となりました。市場シェアは、Camel 及び Mighty が引き続き伸張したことにより、36.3%に増加したものと推定しています。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期と比べ増加しました。

Western Europe

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	1,252	1,224	+2.3% (-1.2%)*
調整後営業利益	612	578	+6.0% (+3.0%)*
参考 (億本)			
総販売数量	275	287	-4.3%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及び為替影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期と比べそれぞれ 2.3%、6.0%増加しました。為替影響を除いた場合、自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 1.2%減少したものの、調整後営業利益は、前年同期比 3.0%の増加となりました。

- 販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航制限の段階的な緩和により総需要が減少したことから、前年同期と比べてそれぞれ 4.3%、0.6%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ドイツ・ギリシャ・アイルランド・イタリア・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸張しました。

- 市場別実績¹**

イタリアにおける総販売数量は、前年同期と比べ 2.0%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 1.5%の増加となりました。GFB 販売数量は、Winston が増加したものの総需要が減少したことにより、前年同期と比べ 0.1%減少しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年同期比 1.1 パーセントポイント増の 27.2%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、渡航者の増加により総需要が堅調に推移したこと及び市場シェアが引き続き伸張したことにより、前年同期と比べ 5.0%増加しました。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel が増加したことにより、前年同期と比べ 3.0%増加しました。市場シェアは、引き続き伸張し、前年同期比 0.9 パーセントポイント増の 28.4%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、2021 年 10-12 月期に実施した値上げによるポジティブな単価差/商品構成影響及び数量差影響により、前年同期と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限の段階的な緩和により総需要が減少したこと及び市場シェアが減少したことから、前年同期と比べ 11.6%減少しました。市場シェアは、Benson & Hedges 及び Sterling が増加したものの、Amber Leaf が減少したことにより、前年同期比 0.1 パーセントポイント減の 45.3%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響があったもののネガティブな数量差影響により、前年同期と比べ減少しました。

EMA

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	1,839	1,566	+17.5% (+14.9%)*
調整後営業利益	604	478	+26.3% (+11.8%)*
参考 (億本)			
総販売数量	696	655	+6.2%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな数量差影響、単価差/商品構成影響及び為替影響により、前年同期と比べそれぞれ 17.5%、26.3%増加しました。為替影響を除いた場合、自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、前年同期と比べそれぞれ 14.9%、11.8%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、Winston、Camel の増加及び Global Travel Retail² の回復により、前年同期と比べてそれぞれ 6.2%、8.9%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・ブラジル・カナダ・チェコ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・モロッコ・ポーランド・ルーマニア・サウジアラビア・セルビア・南アフリカ・トルコにおいて伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量は、総需要が堅調に推移したこと及び市場シェアが引き続き伸張したことにより、前年同期と比べ 2.3%増加しました。GFB 販売数量は、Winston が増加したことにより、前年同期と比べ 3.1%増加しました。市場シェアは、Winston、Camel 及び Sobranie が引き続き伸張し、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 30.1%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

ロシア⁴における流通在庫の影響を除いた総販売数量は、HTS 販売数量が増加したものの Combustibles 販売数量が減少したことにより、前年同期と比べ 2.9%減少しました。ポジティブに作用した流通在庫影響を含む総販売数量は、前年同期と比べ 1.3%減少しました。総需要⁵は、Combustibles 総需要が増税による値上げにより減少したこと及び RRP カテゴリが引き続き伸長したことにより、前年同期と比べ 3.8%減少したものと推定しています。GFB 販売数量は、Camel の持続的な増加が Winston 及び LD の減少を上回ったことにより、前年同期と比べて 4.4%増加しました。市場シェアは、前年同期比 0.1 パーセントポイント減の 36.6%になりました。HTS カテゴリ内シェアは、2.0 パーセントポイント増の 4.1%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響をネガティブな数量差影響が上回ったことにより、前年同期と比べ減少しました。

トルコにおける総販売数量は、2021 年 10-12 月期及び 2022 年 1-3 月期における増税に伴う値上げにより総需要が減少したことから、前年同期と比べ 1.7%減少しました。GFB 販売数量は、Winston が増加したものの、前年同期と比べ 0.9%減少しました。市場シェアは、Winston が牽引し、前年同期比 0.4 パーセントポイント増の 28.0%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期と比べ増加しました。

¹ 出典：総需要及びシェアは、IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JT グループ内部データ。シェアは、特に言及がない限り 2022 年 1 月から 3 月までの平均ベースであり、対象は RMC 及び Fine cut tobacco。Snus を除く。また、カナダ・ドイツ・ハンガリー・イラン・イタリア・カザフスタン・モロッコ・ロシア・サウジアラビ

ア・セルビア・南アフリカ・スペイン・英国に関するデータは 2022 年 1 月から 2 月までの平均ベース。3 か月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。

² 従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。Global Travel Retail でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれています。

³ 日本における市場シェアは、Combustibles、HTS(heated tobacco sticks)及び Infused(infused-tobacco capsules)を含みます。

⁴ ロシアにおける販売数量及び市場シェアは、RMC 及び HTS(heated tobacco sticks)を含みます。

⁵ 出典：JT グループ内部データ。RMC 及び HTS を対象とする 対前年同期比較。

医薬事業

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	213	197	+8.3%
調整後営業利益	46	42	+8.0%

2022 年 1-3 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比 8.3%の増収となりました。
調整後営業利益については、研究開発費の増加があったものの、売上収益の増収により、前年同期比 8.0%の増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2022 年 1-3 月	2021 年 1-3 月	増減率
売上収益	357	338	+5.5%
調整後営業利益	4	3	+26.4%

2022 年 1-3 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、主に冷食・常温事業の販売伸長により、前年同期比 5.5%の増収となりました。
調整後営業利益については、原材料費等の高騰やネガティブな為替影響があったものの、トップラインの伸長による一部相殺及び前年に計上した子会社の工場火災に係る除却損の剥落により、前年同期比 26.4%の増益となりました。

データシート

2022年度 第1四半期実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減	増減率
売上収益	5,815	5,474	+341	+6.2%
営業利益	1,784	1,601	+182	+11.4%
調整後営業利益	1,949	1,781	+168	+9.4%
税引前利益	1,747	1,563	+184	+11.7%
四半期利益	1,241	1,138	+103	+9.1%
基本的EPS* (円)	69.94	64.13	+5.81	+9.1%

*四半期利益を基に算定

(参考)

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	5,470	5,269	+201	+3.8%
為替一定ベース調整後営業利益	1,861	1,781	+80	+4.5%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減	増減率
全社 売上収益	5,815	5,474	+341	+6.2%
たばこ事業	5,239	4,936	+304	+6.1%
自社たばこ製品売上収益	5,020	4,731	+289	+6.1%
医薬事業	213	197	+16	+8.3%
加工食品事業	357	338	+19	+5.5%
その他	6	3	+3	+83.5%
全社 営業利益	1,784	1,601	+182	+11.4%
たばこ事業	1,813	1,656	+157	+9.5%
医薬事業	46	42	+3	+8.0%
加工食品事業	3	-7	+11	-
その他/消去	-79	-90	+11	-
調整合計	-165	-180	+14	
たばこ事業	-160	-167	+7	
医薬事業	0	0	-0	
加工食品事業	-1	-11	+10	
その他/消去	-4	-2	-2	
全社 調整後営業利益	1,949	1,781	+168	+9.4%
たばこ事業	1,973	1,823	+150	+8.3%
医薬事業	46	42	+3	+8.0%
加工食品事業	4	3	+1	+26.4%
その他/消去	-74	-88	+13	-

2022年度 第1四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減
全社 減価償却費及び償却費	412	400	+12
たばこ事業	380	369	+11
医薬事業	12	12	+0
加工食品事業	16	15	+1
その他/消去	4	4	+0

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2022年3月末	2021年12月末	増減
資産合計	57,474	57,742	-269
資本合計	29,831	28,861	+971
親会社の所有者に帰属する持分	29,058	28,093	+966
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,637.49	1,583.10	+54.38

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2022年3月末	2021年12月末	増減
手元流動性	6,674	7,302	-628
有利子負債	9,625	9,186	+438

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減
営業キャッシュフロー	390	124	+266
投資キャッシュフロー	-227	-224	-3
財務キャッシュフロー	-1,168	-1,274	+107
現金及び現金同等物の期首残高	7,217	5,388	+1,829
現金及び現金同等物に係る換算差額等	340	230	+110
現金及び現金同等物の期末残高	6,553	4,243	+2,310
FCF	184	-94	+278

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2022 Q1	2021 Q1	増減
資本的支出	146	171	-25
たばこ事業	108	123	-14
医薬事業	2	18	-15
加工食品事業	20	23	-3
その他/消去	15	7	+8

8. 為替

	2022 Q1	2021 Q1	増減	増減率
100円/USD	0.86	0.94	-0.08	9.7%高
100円/RUB	73.74	70.08	+3.67	5.0%安
100円/GBP	0.64	0.68	-0.04	6.7%高
100円/EUR	0.77	0.78	-0.02	2.1%高
100円/CHF	0.79	0.85	-0.06	7.4%高
100円/TWD	24.05	26.46	-2.41	10.0%高
100円/TRY	11.95	6.95	+5.00	41.9%安
100円/PHP	44.29	45.53	-1.24	2.8%高

2022年度見込
(2022/2/14公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2022 見込	2021 実績	増減	増減率
売上収益	23,150	23,248	-98	-0.4%
営業利益	5,340	4,990	+350	+7.0%
調整後営業利益	6,110	6,104	+6	+0.1%
当期利益	3,560	3,385	+175	+5.2%

(参考)

(単位：億円)

	2022 見込	2021 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	22,290	22,317	-27	-0.1%
為替一定ベース調整後営業利益	6,350	6,104	+246	+4.0%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2022 見込	2021 実績	増減	増減率
基本的EPS*	200.62	190.76	+9.86	+5.2%
1株当たり配当金	150	140	+10	+7.1%
ROE*	12.5%	12.7%	-0.2ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2022 見込	2021 実績	増減	増減率
売上収益	23,150	23,248	-98	-0.4%
たばこ事業	20,780	20,951	-171	-0.8%
自社たばこ製品売上収益	19,860	20,020	-160	-0.8%
医薬事業	815	804	+11	+1.4%
加工食品事業	1,530	1,472	+58	+3.9%
その他	25	21	+4	+20.3%
全社 営業利益	5,340	4,990	+350	+7.0%
たばこ事業	5,720	5,224	+496	+9.5%
医薬事業	100	113	-13	-11.5%
加工食品事業	20	29	-9	-31.7%
その他/消去	-500	-376	-124	-
全社 調整後営業利益	6,110	6,104	+6	+0.1%
たばこ事業	6,400	6,392	+8	+0.1%
医薬事業	100	111	-11	-9.9%
加工食品事業	25	40	-15	-36.8%
その他/消去	-415	-439	+24	-

**2022年度見込
(2022/2/14公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2022 見込	2021 実績	増減
FCF	3,420	4,820	-1,400

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2022 見込	2021 実績	増減
資本的支出	1,310	1,009	+301
たばこ事業	1,060	825	+235
医薬事業	30	60	-30
加工食品事業	125	107	+18
その他/消去	95	17	+78

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2022年の総販売数量：対前年で3%程度の減少(2021年の総販売数量は5,288億本)
- ・ 2022年のGFB販売数量：対前年で2%程度の減少(2021年のGFB販売数量は3,558億本)

<為替前提レート>

	2022 見込	2021 実績	増減	増減率
100円/USD	0.88	0.91	-0.03	3.8%高
100円/RUB	70.20	67.10	+3.10	4.4%安
100円/GBP	0.64	0.66	-0.02	3.4%高
100円/EUR	0.76	0.77	-0.01	1.3%高
100円/CHF	0.80	0.83	-0.03	4.0%高
100円/TWD	24.55	25.45	-0.90	3.7%高
100円/TRY	13.15	8.02	+5.13	39.0%安
100円/PHP	45.60	44.85	+0.75	1.6%安

たばこ事業データ

1. サマリー

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,285				1,285	億本
(前年同期比)	+1.2%				+1.2%	
Combustibles販売数量	1,266				1,266	億本
(前年同期比)	+1.0%				+1.0%	
GFB販売数量	874				874	億本
(前年同期比)	+3.7%				+3.7%	
RRP販売数量	20				20	億本
(前年同期比)	+16.0%				+16.0%	
自社たばこ製品売上収益	5,020				5,020	億円
(前年同期比)	+6.1%				+6.1%	
	(+3.4%)*				(+3.4%)*	
RRP関連売上収益	191				191	億円
(前年同期比)	+2.4%				+2.4%	
調整後営業利益	1,973				1,973	億円
(前年同期比)	+8.3%				+8.3%	
	(+3.4%)*				(+3.4%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	4,731				4,731
数量差	-93				-93
価格差/Mix	+256				+256
2022為替一定	4,894				4,894
FX	+126				+126
2022	5,020				5,020

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,823				1,823
数量差	-73				-73
価格差/Mix	+225				+225
その他	-89				-89
2022為替一定	1,886				1,886
FX	+88				+88
2022	1,973				1,973

たばこ事業データ

4. クラスタ別構成 (前年同期比)

販売数量

(億本)

Asia	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
総販売数量	315	-4.1%				315	-4.1%
GFB販売数量	187	-4.5%				187	-4.5%
Western Europe	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
総販売数量	275	-4.3%				275	-4.3%
GFB販売数量	187	-0.6%				187	-0.6%
EMA	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
総販売数量	696	+6.2%				696	+6.2%
GFB販売数量	500	+8.9%				500	+8.9%

財務

(億円)

Asia	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,929	-0.6%				1,929	-0.6%
		(-2.9%)*					(-2.9%)*
調整後営業利益	757	-1.3%				757	-1.3%
		(-1.5%)*					(-1.5%)*
Western Europe	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,252	+2.3%				1,252	+2.3%
		(-1.2%)*					(-1.2%)*
調整後営業利益	612	+6.0%				612	+6.0%
		(+3.0%)*					(+3.0%)*
EMA	2022 Q1		2022 Q2	2022 Q3	2022 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,839	+17.5%				1,839	+17.5%
		(+14.9%)*					(+14.9%)*
調整後営業利益	604	+26.3%				604	+26.3%
		(+11.8%)*					(+11.8%)*

*為替一定ベース

たばこ事業データ

5. クラスター別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,941				1,941
数量差	-84				-84
価格差/Mix	+28				+28
2022為替一定	1,885				1,885
FX	+44				+44
2022	1,929				1,929
Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,224				1,224
数量差	-64				-64
価格差/Mix	+50				+50
2022為替一定	1,210				1,210
FX	+42				+42
2022	1,252				1,252
EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,566				1,566
数量差	+56				+56
価格差/Mix	+178				+178
2022為替一定	1,800				1,800
FX	+40				+40
2022	1,839				1,839

6. クラスター別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	767				767
数量差	-64				-64
価格差/Mix	+27				+27
その他	+26				+26
2022為替一定	756				756
FX	+1				+1
2022	757				757
Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	578				578
数量差	-39				-39
価格差/Mix	+48				+48
その他	+9				+9
2022為替一定	595				595
FX	+17				+17
2022	612				612
EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	478				478
数量差	+30				+30
価格差/Mix	+150				+150
その他	-124				-124
2022為替一定	535				535
FX	+69				+69
2022	604				604

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	447 +3.8%				447 +3.8%
Camel	202 +15.1%				202 +15.1%
MEVIUS	109 -2.9%				109 -2.9%
LD	116 -6.8%				116 -6.8%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.86 9.7%高				0.86 9.7%高
100JPY/RUB	73.74 5.0%安				73.74 5.0%安
100JPY/GBP	0.64 6.7%高				0.64 6.7%高
100JPY/EUR	0.77 2.1%高				0.77 2.1%高
100JPY/CHF	0.79 7.4%高				0.79 7.4%高
100JPY/TWD	24.05 10.0%高				24.05 10.0%高
100JPY/TRY	11.95 41.9%安				11.95 41.9%安
100JPY/PHP	44.29 2.8%高				44.29 2.8%高

現地通貨 vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート) -1で算出

たばこ事業データ

9. Key markets

Source: IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator及びJTグループ内部データ / 出典の過去データ修正も反映しています。

イタリア・スペイン・英国・ロシアのシェアに関するデータは2022年1月から2月までの平均ベースです。

日本

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		145				145
		-9.2%				-9.2%
Combustibles販売数量		131				131
		-12.1%				-12.1%
RRP販売数量		14				14
		+33.0%				+33.0%
HTS販売数量		8				8
		+129.5%				+129.5%

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		42.1%				42.1%	-2.7ppt
Combustibles SoS		57.2%				57.2%	-2.4ppt
GFB		38.8%				38.8%	-1.9ppt
Winston		6.7%				6.7%	-0.4ppt
MEVIUS		26.7%				26.7%	-0.8ppt
Seven Stars		7.3%				7.3%	-0.0ppt
Camel		5.3%				5.3%	-0.7ppt
RRP SoS		12.0%				12.0%	+2.2ppt
HTS SoS		7.2%				7.2%	+3.7ppt
Total SoV		42.8%				42.8%	-1.6ppt

フィリピン

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		69				69
		-3.1%				-3.1%

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		36.3%				36.3%	+0.5ppt
GFB		12.6%				12.6%	+0.1ppt
Winston		10.5%				10.5%	-0.1ppt
Camel		2.0%				2.0%	+0.2ppt
Total SoV		34.0%				34.0%	+1.8ppt

台湾

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		36				36
		-0.2%				-0.2%

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		48.7%				48.7%	+0.6ppt
GFB		40.1%				40.1%	+0.6ppt
Winston		13.7%				13.7%	+0.2ppt
LD		7.4%				7.4%	+0.1ppt
MEVIUS		18.9%				18.9%	+0.3ppt
Total SoV		53.0%				53.0%	+0.6ppt

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		48				48	
		-2.0%				-2.0%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		27.2%				27.2%	+1.1ppt
GFB		22.6%				22.6%	+1.1ppt
Winston		14.1%				14.1%	+1.5ppt
Camel		8.5%				8.5%	-0.4ppt
Total SoV		26.8%				26.8%	+1.0ppt

スペイン

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		40				40	
		+5.0%				+5.0%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		28.4%				28.4%	+0.9ppt
GFB		26.3%				26.3%	+0.6ppt
Winston		15.0%				15.0%	-0.2ppt
Camel		11.4%				11.4%	+0.8ppt
Total SoV		28.3%				28.3%	+1.3ppt

英国

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		48				48	
		-11.6%				-11.6%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		45.3%				45.3%	-0.1ppt
GFB		0.1%				0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf		11.9%				11.9%	-1.3ppt
Sterling		13.7%				13.7%	+0.7ppt
Benson & Hedges		10.2%				10.2%	+0.5ppt
Total SoV		45.8%				45.8%	+0.3ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		16				16	
		+2.3%				+2.3%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		30.1%				30.1%	+0.6ppt
GFB		17.3%				17.3%	+0.2ppt
Wisnton		15.2%				15.2%	+0.6ppt
Camel		1.3%				1.3%	+0.0ppt
Total SoV		30.5%				30.5%	+0.9ppt

ロシア*

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		184				184	
		-1.3%				-1.3%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		36.6%				36.6%	-0.1ppt
GFB		27.1%				27.1%	+2.1ppt
Winston		12.1%				12.1%	-0.9ppt
Camel		7.3%				7.3%	+4.3ppt
LD		7.7%				7.7%	-1.3ppt
Total SoV		37.4%				37.4%	+0.2ppt

*ロシアにおける市場シェアは、RMC及びheated tobacco sticksを含みます。

トルコ

Volume evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	(億本)
総販売数量		67				67	
		-1.7%				-1.7%	

Share evolution

	2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM		28.0%				28.0%	+0.4ppt
GFB		25.5%				25.5%	+0.5ppt
Wisnton		16.6%				16.6%	+1.9ppt
Camel		6.4%				6.4%	-0.9ppt
LD		2.4%				2.4%	-0.5ppt
Total SoV		27.1%				27.1%	+0.5ppt

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2022年4月28日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase3 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (Tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2 (国内)		

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2022年2月14日)からの変更点

・なし

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益 + 医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用） = のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, Oral 製品等が含まれる
加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を楽しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック = RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペーパー（蒸気）を楽しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ = RMC1 本として換算
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランドが含まれる

総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（スヌース・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の RMC 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMC として換算）。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMC として換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	JT グループのたばこ事業をより深く理解いただくために、同事業を 3 地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けしたものだ。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない - Asia：日本を含むアジア全域 - Western Europe (WE)：西欧地域 - EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く - 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 - 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com